

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書①

【 産後ケア事業(短期入所型・通所型) 事業】 記入日 令和 5 年 10 月 13 日

基本情報(A・B)

A) 施策、根拠法令等

担当部署	部	健康いきいき部	課	健康推進課	係	保健係		
基本施策	1 子どもたちの笑顔があふれるまちづくり				事業種別	補助・助成を受けている業務		
					継続・新規	継続して実施している事業		
分野別施策	施策1 - 1 子育て支援【重要施策】				事業予算額			
					25,936 千円			
展開方向	<input checked="" type="checkbox"/> 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり				予算科目	会計 一般会計		
	<input type="checkbox"/> 子どもたちの成長と発達を支援する環境づくり					款 4	衛生費	
	<input type="checkbox"/> 支援や配慮を必要とする子どもたちを支える環境づくり					項 1	保健衛生費	
根拠法令等 (あれば)	母子保健法第17条の2 とうきょうママパパ応援事業補助金交付要綱				目 1	保健衛生総務費		
					事業番号		3	

B) 事業内容・対象

市の魅力向上に寄与する事業	人口減少抑制に寄与する事業	○
事業概要 (何をやる事業か)	出産後にサポートが必要な母子に対し、助産師などの専門家から育児に関する支援・相談・指導などを実施する。(健康づくりカレンダーや市公式HP、母子健康手帳交付時に周知) 短期入所型1施設、通所型2施設 利用料：短期入所型1泊6,000円、通所型1日2,000円(生活保護・非課税世帯は0円) 一人当たりの利用上限：短期入所型2泊+通所型4日	
事業の対象	産婦とその乳児	

現年度(令和5年度)に実施中の事業について(C・D・E・F)

C) 目標・目指す状態 ※市民意識調査の結果を目標値にはできません(施策評価の目標であるため)。
 ※「〇〇意識を高める」「理解を深める」等といった成果が測れないものは不可とします。必ず効果が数値化できる目標にしてください。

目標・目指す状態	単位	目標数値
① 育児支援を必要とする方への産後ケアの実施	人	支援を必要とする方に対する全員に実施
②		

D) 前年度と変更した点がありますか? ※事業の実施を経て、見直し、解決すべきだと考えたことを元に変更した点

<input checked="" type="checkbox"/> 有	変更した点→	母子健康手帳交付時面接でのチラシを全数配布し周知、近隣産科医療機関(東大和市・立川市)・小児科医療機関にてポスター掲示
<input type="checkbox"/> 無	無の理由→	

E) 見直し状況 ※変更(見直し)については、どの程度進んでいますか

母子健康手帳交付時の面接相談内容から、必要と思われる方へは事前の申請を案内し受け付けている。
 母子手帳交付時面接の状況を新生児訪問指導員に伝え、利用を案内している。

F) 令和5年度中の進捗状況(予定含む) ※進捗状況はなるべく時系列に沿って記入してください。

①	〈妊娠28週以降〉利用申請(保健センターへ利用申請書を提出&保健師等による面接)
②	〈面接後、2週間以内〉利用決定
③	〈利用決定後〉利用予約(希望する施設へ利用者が電話で予約)
④	〈利用日当日〉産後ケア利用後、施設で利用者が自己負担分の支払い
⑤	〈利用後〉施設から市へ実績報告と利用者自己負担以外の市負担分の請求書を送付
⑥	市から施設へ市負担分を支払い
⑦	
⑧	【R5予算】短期入所336日×44,000円(泊)+通所672日×16,000円(日)+利用者負担400,000円
⑨	【利用実績(10/13日現在)】
⑩	利用申請者数 17人 利用実人数 8人
⑪	(延べ日数 短期入所型 2泊、通所型 12日)
⑫	

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書②

【産後ケア事業(短期入所型・通所型) 事業】 記入日 令和 6 年 3 月 31 日

実績報告・事業分析

A) リアタイ評価会議での意見・助言等

①	事業周知、件数が少ないと感じる。利用することで「できない人」「ダメな人」というイメージがあるのではないかと。利用しやすいように周知する取組を考えてはどうか。
②	市外で出産される人もいる。市外の助産施設での対応も検討してはどうか。

B) 上記意見を受けて、対応したもの 及び 参考としたもの

特になし(特に①について、本事業を利用できる対象者は、産後に心身の不調又は育児不安等がある者や特に支援が必要と認められる者として利用対象が、国の基準で定められている。このため利用者は保健センターで保健師等と面談の上、利用が適切であると調整した者に限られる。また母子手帳交付時には全妊婦に対し事業の案内を行っており、新生児訪問時には全妊婦と顔を合わせて面談を実施することで、本事業の利用が必要な対象者への積極的な利用案内を行っている。

C) R5年度の実績(事業の実績を示す数値 又は 事業の目標としたものの結果) ※市民意識調査の結果は不可とします。

実績の説明	単位	目標値	R5実績値	【参考】R4実績値
① 短期入所(東大和助産院)延べ利用回数	回	特になし	10	4
② 通所(東大和助産院)延べ利用回数	回	特になし	16	14
③ 通所(阿部産婦人科)延べ利用回数	回	特になし	13	2

数値として出せる実績が得られなかった(下記にその理由を記載してください)

数値結果がない理由	
R5実績は去年と比べて	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 例年通り <input type="checkbox"/> 低下した <input type="checkbox"/> その他
	左記とした理由 又は 分析等(向上・低下した要因等)： 前年度である令和4年度に利用決定の承認を受けた方で、令和5年度に入ってから利用した方がいたため。 なお事業開始は令和4年度から。このため、令和4年度は前年度に利用決定があった方がいないため、利用人数は低い。

D) 分析(令和5年度の実績を踏まえて)

↓該当する1つに○をつけてください↓

①この事業の有効性は 費用対効果(コスパ)、執行体制の状況、手法として最適か 等	高かった	<input type="radio"/> 普通だった	低かった
①の理由：本事業は費用に関して、特定財源が100%の事業であり、特定財源分の効果は充分にあると評価する。しかしながら、人件費以外に市費が発生していないことから、費用対効果の算定が適切にできない。このため「普通」としている。			
②この事業に対する市民のニーズ、反応は 市民の反応等を踏まえて回答してください。	高かった(良かった)	<input type="radio"/> 普通であった	低かった
②の説明：本事業があることを母子手帳交付時等に全妊産婦に面談を通じて説明することで、出産後に不安がある妊産婦に対して、ケアを行うことを行っている。			
③この事業における市民協働・共創の余地は ※「市民協働」及び「共創」については別紙1をご確認ください。	多くの余地がある	<input type="radio"/> 余地がある	<input type="radio"/> 余地がない
③の説明：産後ケアの事業内容は国の基準に基づき医療機関等で実施していることから、余地はない。			
④この事業が今後市の類似事業と統合・再構築できるか ※市で行っている類似の事業がある場合のみ回答	可能である	<input type="radio"/> 検討の余地がある	<input type="radio"/> 不可能である
④の説明：統合・再構築できる事業はない。			
⑤近隣市の類似事業と比較して充実している事業か ※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答	他市より充実している	<input type="radio"/> 他市と同程度	他市の方が充実
⑤の説明：国の基準に基づき、都内の全市で実施している。他市では助産師等が訪問して産後ケアを実施するアウトリーチ型を採用している市があることから、当市でも令和6年度途中から実施を予定として準備している。			
⑥東大和市独自の個性を出している事業か	市の特長、個性を出せる事業である	<input type="radio"/> 他市と同程度個性はない	
⑥の説明：国の基準に従い実施しており、おおむね他市と同水準の内容となっている。なお国の基準以上や、基準外を事業の内容とした場合、補助対象ではなくなり、市費での対応が必要となる。			

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書③

【 産後ケア事業(短期入所型・通所型) 事業】 記入日 令和 6 年 3 月 31 日

反省・今後の方向性

A) 来年度以降の課題や見直すべき点		※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。
①	市民の方で、市外の永井産婦人科（立川市）で出産する方が、全体の出産数の3割を占めていることから、市外の医療機関で実施できるかを検討する。	
②		
③		
④		
⑤		

B) 来年（令和6年度）の取組予定		※事務予定または、改善事項を記入してください。
①	短期入所、通所型についてはそれぞれ利用回数の上限があることから、見直しを行う。	
②	アウトリーチ型の実施を行う。	
③		
④		
⑤		

C) 上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等		※記入日時時点で必要と考えられる準備事務について記入。
①	医療機関等との利用料の調整については、26市の状況等を鑑み、単価や内容を決定していく必要がある。	
②		
③		
④		
⑤		

事業コスト （令和6年 3 月 31 日 時点）

予算科目	款 項 目	4 1 1	事業 番号	3	予算 名称	母子保健事業費（産後ケア事業委託料）
------	-------------	-------------	----------	---	----------	--------------------

R5予算額及び決算額

※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。

単位：円

R5予算額		R5決算額(暫定)		【参考】R4決算額	
事業費合計	25,936,000	事業費合計	922,250	事業費合計	450,250
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
12 委託費	25,936,000	12 委託費	922,250	12 委託費	450,250
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	0	一般	0	一般	0
国	12,968,000	国	461,000	国	225,000
都	12,968,000	都	461,250	都	225,250
市債		市債		市債	
その他		その他		その他	